

船橋 Y M C A 通 信



No. 109 2019年7月1日

〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内

電話：(047)425-6366 F A X：(043)222-5061



千葉 Y M C A 定期総会

一般財団法人千葉 Y M C A の 2019 年定期総会が 6 月 8 日 (土) に千葉センターで開かれました。

総会は、出席 21 名、委任状による出席 65 名の合計 86 名で、総会構成員 142 名の 1/3 以上の出席があったので成立しました。

総会では、① 2018 年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告、② 2019 年度事業計画及び収支予算、③ 常議員選出の 3 つの議案が審議され、いずれも原案通り承認されました。



《事業報告をする廣田総主事 (左) と

総会議長をされる中村潔常議員会議長 (中央)》

総会の議事終了後ボランティアリーダーへの委嘱状交付が行われ、中村議長から 4 名の出席リーダーに委嘱状が手渡されました。



《委嘱状を受けた 4 名のリーダー達》

リーダー委嘱の前に、チャリティーラン益金を用いて 2018 年 11 月 24 日 (土) ~ 25 日 (日) に行われた「ほっこり、にっこり、わんぱくキャンプ」の報告がなされました。今回は、前回に比べ招待者が 10 名増えて 25 名になり、この事業が定着する兆しが見えてきました。



《キャンプの報告をする小林青少年野外事業主任》



《同キャンプの体育館での鬼ごっこ》

総会の第 3 部として、「Y M C A の今後の方向性—全国事業戦略立案から」と題して、全国の Y M C A を回ったスカイライトコンサルティング株式会社顧問の佐藤幸作氏から講話がありました。佐藤氏は横浜 Y M C A のメンバーだったそうです。

佐藤氏は、Y M C A は子どもが生まれてから社会に根付くまで長期にわたって子どもと家庭に「伴走」するコンセプトで事業を進めることが必要であると話されていました。



《廣田総主事から紹介される佐藤氏》

障がい者理解体験教室を開催

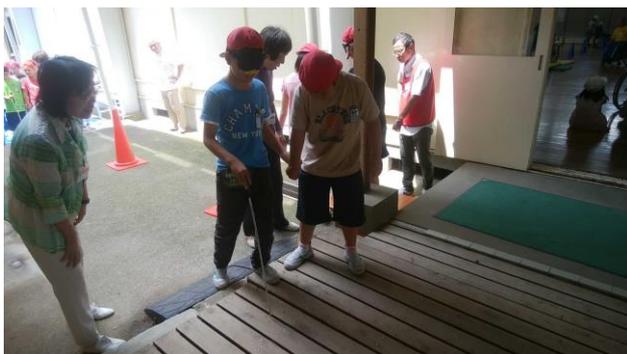
2019年6月25日に塚田小学校で障がい者理解体験教室が開催されました。今回は、4年生207名が車いす体験および視覚障がい体験を行いました。

ご協力いただいたボランティアの方々は、日本車椅子レクダンス協会(矢車草)のメンバー10名、ボランティアサロンふなばしのメンバー8名、塚田地区社協のボランティア9名、夏見地区社協のボランティア1名、ボランティアセンターのスタッフ2名、千葉介助犬協会のスタッフ2名と千葉YMCAのボランティア6名でした。



《塚田小の車いす体験の様子です》

車いす体験は、介助される人と介助する人を交互に経験したあと、一人で車いすを操作する自走体験も行います。



《塚田小の視覚障がい体験の様子です》

視覚障がい体験は、アイマスクをして介助者の手首の上を軽くつかんで白杖を使って歩きます。



《塚田小の車いすダンスの様子です》

200人を超える人達が一つの輪になって踊る車いすダンスは壮観です。



《介助犬が床に落ちた1円玉を拾います》

今回も千葉介助犬協会のスタッフ2名と訓練中の介助犬1頭が参加して、介助犬ができることをデモンストレーションしました。

チャリティーランは10月12日(土)

第22回千葉YMCAインターナショナル・チャリティーランは、10月12日(土)に船橋市運動公園で行われます。日程変更にご注意ください。

船橋YMCA活動記録

船橋YMCAの5月、6月の活動記録です。

- ・ 5月16日(木) 千葉YMCAビジョン委員会
- ・ 5月18日(土) チャリティーラン実行委員会
- ・ 5月27日(月) 千葉YMCA常議員会
- ・ 6月9日(土) 千葉YMCA2018年定期総会
- ・ 6月25日(火) 塚田小障がい者理解体験教室

編集後記

今年も障がい者理解体験教室が始まりました。ボランティアの方もスタッフも高齢化が進んでいて、夏の暑さに負けそうです。(横)